

# 業務部速報



No. 175

発行 22. 6. 1

JR東労組 業務部

## 申 2022年度夏季手当等に関する申し入れ **PART③** 28号 2022年6月1日 第2回交渉を行う!!

【組合】2020年の夏季手当以降、**コロナの特別手当50,000円**を一貫して要求しているが、要求に即した回答がされていないばかりか、賃金はカットされている。この2年間は並々ならぬ努力をしてきた。私たちは収入が減少させられている上に、感染防止対策の個人負担が増加し、その支出が生活費を圧迫していることを認識すべきだ。このコロナ禍の努力にどう報いるのか！今まで報いていないがどこで報いるのか！

インフラという社会的責任を果たすために運休を発生させず安全・安定輸送を確保してきた。感染者が出た際には休日出勤し連続勤務になりながらもなんとか回している。私生活においても感染しないように人混みを避けるなど気をつけている。仕事に穴を空けないために日々の生活をしていることを評価すべき。

【会社】2年以上にわたって感染防止対策を行い、感染リスクのある中社会的使命を果たしていただいていることに改めて感謝する。会社としては手当ということだけではなく、最大限出来る対応をしてきた。

マスク・消毒液等の購入、離れた家族に会うために自費で抗原検査キットを購入し年間6万円程の支出をし、職場でも感染させないために努力している。



### コロナ禍での職場の努力に報いるべきだ！

いくら頑張っても収入が増えない。働き続けることに意味を見出せない。内定の時に日々の給料は低いけど、夏季・年末の賞与が多くもらえるよと会社の人事に言われて入社しているのに、この現状はどうなの？これ以上手当が下がったら転職する方がいいのではないかな。転職するなら30歳を超える前の方がいいみたいだ。子どもが生まれるからお金が必要。産後パパ休暇ができたけど、収入が下がっているので無給の制度は使えない。

人手不足の中、ワクチンの副反応やコロナ罹患者が出た時にも休日出勤などして応じて、列車運行を確保してきた。私たちはロボットじゃない！過去最高の働き度に応えてください！！

激甚化する自然災害の対応に汗している。事故事象も続いている。線閉違反が多くあるが、原因をたどれば現場に余裕がないことが浮き彫りになっている。その一方緊急点検などで急な対応に右往左往している現実のなかでも、事故事象を撲滅するために日々奮闘している。

### 私たちの職場の声だ！

3/16の福島県沖地震の対応は、常に臨時行路のため、現場では行路作成に奔走し、ぎりぎりまで次勤務が決まらない中でも協力して乗り越えてきた。車両関係では、バスで出向いて交検を行って運行を確保してきた。日々情報が変わる中で、企画部門や駅も輸送を支えてきた。工務職場においても早期復旧に向けて昼夜を問わず遂行した結果、4/14に全線開通を成し遂げた。

車両では、部品の修繕を再利用してコスト削減、部品の可能なところは薬剤洗浄をやめて、作業環境が悪化してまでもコストダウンに努めてきた。

統括センターや営業統括センター化によって企画業務が増え、働き度は増すばかりだが賃金は低下している。モチベーションが上がるわけない。営業統括センターになったが、拠点駅のみで様々なことを決めて物事が進んでいく。他の駅はタイトな日程で報告を求められるばかりで、企画業務どころではない。チケットレス化を推進するが定着率が悪く、業務量は確実に増えている。増収のための取り組みでイベントが増えており、本来業務にあたる人員が減って一人当たりの業務量が激増している。委員会やマイプロを超勤でやらされ、稼げ稼げと言われるが、やりがいでない限りだ。

朝礼や訓練で、毎日のように赤字であるという話がされ、一人ひとりが考えて業務に就いている。勤務での食事はNewDaysで購入するようにしている。贈り物などはJREモールでの購入を意識している。親族にビューカードの入会と利用を呼びかけている。日々黒字化に向け努力している。感謝の言葉だけでなく手当で応えるべきだ！

コロナ禍においても、健康推進センターでは健康診断や適性検査を実施して鉄道運行を下支えしている。病院では社員の健康と地域医療の場の確保を成し遂げてきた。

入区列車の車内清掃では、汚れている場合は責任感を持って感染症のリスクがある中、嘔吐物の対応などを行っている。